

研究主題

早期からの継続した教育支援体制の整備に関する研究

一小・中・高をつなぐ「引継ぎシート」の開発・試行を通して—

【研究担当者】 岩井澤 通代 外 館 悌
 【この研究に対する問い合わせ先】
 TEL 0198-27-2821 FAX 0198-27-3562
 E-mail sien-r@center.iwate-ed.jp

「引継ぎシート」活用の具体的手順

小学校から中学校等への引継ぎについて示しています。

階	時期	内容	具体的な手順
作成前	4月～	本人・保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者で、日頃から情報共有を行い、保護者との関係づくりをする。 対象児童の支援内容等を確認する。 支援の方向性の確認をする
作成・同意	4月～11月頃	校内委員会等を開き、中学校等への引継ぎが必要な児童を確認	<ul style="list-style-type: none"> 既に保護者の了承のもとに支援を行っている児童であるかを確認する。 <校内委員会> ①引継ぎが必要な場合の報告（担任・特別支援教育コーディネーター） ②作成対象児童、今後の取組等の確認
	12月頃	保護者との面談	<ul style="list-style-type: none"> 担任から保護者へ「引継ぎシート」をもとに学校生活の様子について伝える。 保護者の要望や今後の指導・支援の方向性、「引継ぎシート」の修正箇所等について確認する。 ・学校生活の様子 ・保護者の要望 ・今後の支援の方向性
引継ぎ	2月頃	「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを保護者と確認する	<ul style="list-style-type: none"> 担任と保護者との間で、「引継ぎシート」を進学予定の学校に提出することを確認し、保護者から同意を得る。
	3月上旬	進学先の学校に連絡し、引継ぎの日程を調整	<ul style="list-style-type: none"> 双方にとって都合がよい日程を調整し、小中連携会議、小中引継ぎ会議等で引継ぎを行う。
	3月中旬	進学先の学校へ、「引継ぎシート」を送付する。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校から中学校へ、「引継ぎシート」を簡易書留による郵送又は直接持参する。 「引継ぎシート」を引き継ぎます
引継ぎ後	3月下旬	担当者同士が面談し、支援情報の引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> 「引継ぎシート」をもとに、児童の基本情報を引き継ぐ。
	4月～	進学先との情報交換等	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、進学先の学校と情報交換を行う。 学校間での連携を図ります

中学校から高等学校等への「引継ぎ」段階における具体的手順

階	時期	内容	具体的な手順
引継ぎ	3月下旬～4月上旬	進学先の学校等へ、「引継ぎシート」を送付する。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校入学者選抜、特別支援学校入学者選考の合格発表後、速やかに中学校から進学先の学校等へ、「引継ぎシート」を簡易書留による郵送又は直接持参する。 「引継ぎシート」を引き継ぎます

「引継ぎシート」の活用例

校内委員会等で検討した内容は、教職員全体で共有しましょう。

場・会議等	内容
職員会議 校内委員会 学年会 支援会議	<ul style="list-style-type: none"> 校内での共通理解 本人や保護者との情報共有（①支援内容の確認 ②支援内容の随時見直し） 関係機関との情報共有 支援内容の検討 「引継ぎシート」をもとにした「個別の指導計画」の作成 「個別の指導計画」を活用した指導・支援

現籍校での継続した支援を確実に行うことができます。

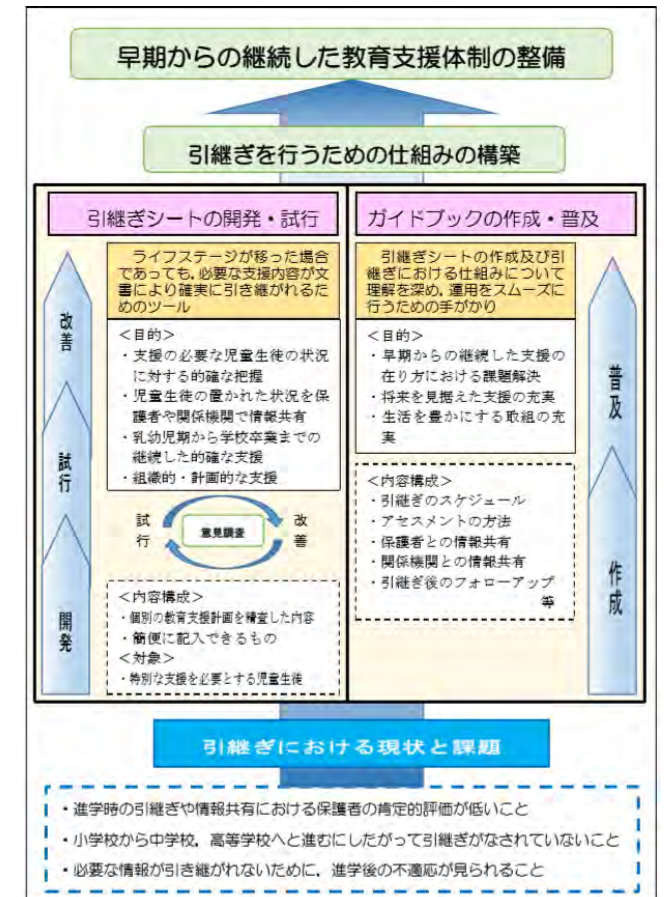
研究内容の詳細は、当センターのWebページに掲載しています。

<http://www1.iwate-ed.jp/kankou/kkenkyu/175cd/r01ken.html>



I 研究構想

「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について（通知）」（文部科学省，2013）において、個別の教育支援計画作成の重要性が明示されています。個別の教育支援計画を作成している幼稚園、小・中学校及び高等学校の達成状況は年々上昇している（文部科学省，2017）ものの、その活用にはばらつきがあるのが現状です。いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）策定に係る調査結果（岩手県教育委員会，2018）によると、進学時の引継ぎや情報共有ができていくとする肯定的評価の割合が、小学校から中学校、高等学校へと進むにしたがって低下している現状があります。また、学校（園）長と保護者との肯定的評価の割合を比較すると、保護者の割合が学校（園）長の割合より低い傾向が見られました。これらの課題を改善していくために、本研究では、モニター校からの意見調査を踏まえた「引継ぎシート」の開発、「作成・活用ガイドブック」を作成することにより、引継ぎを確実にするための仕組みを構築し、早期からの継続した教育支援体制の整備に資することを目的としたものです。



【研究構想図】

「引継ぎシート」を作成する

- ・「引継ぎシート」の内容
- ・「引継ぎシート」作成の対象
- ・保護者との情報共有
- ・「引継ぎシート」の作成
- ・「引継ぎシート」と「個別の教育支援計画」等との関係

「引継ぎシート」を活用する

- ・小学校から中学校等への引継ぎ
- ・中学校から高等学校等への引継ぎ

Q&A

ガイドブックの内容



Ⅱ 「引継ぎシート」の開発

「引継ぎシート」作成の対象

作成の対象者を具体的に示しています。

- ① 通常の学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒
(※通級による指導を受けている児童生徒を含む)
- ② 特別支援学級に在籍する児童生徒



教育上特別な支援を必要とする児童生徒であり、医療機関からの診断の有無は問いません。

①通常の学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒とは

・知的発達の遅れが疑われる	・能力や興味関心の偏りが見られる
・行動面に困難さが感じられる	・対人面に困難さが感じられる
・社会性に困難さが感じられる	・学習面に困難さが感じられる

「引継ぎシート」記入方法

引継ぎにおいて重要と思われる事項について記入します。

引継ぎシート【小学校版】					取扱注意
作成日：令和 年 月 日		学校名： 小学校		校長： 印	
				作成者： 印	
1 児童の概要					
児童氏名		性別	生年月日		
ふりがな	[ふりがな]		○年	○月	○日
氏名	○○ ○○○				
関係医療機関		関係相談機関(者)・支援機関(者)			
病院名	○○病院	機関名	○○センター	スクールカウンセラー	
主治医	○○○○	担当者	○○○○	○○○○	
診断名	ADHD	相談時期	X年～	X年～(月に1回)	
診断時期	小学5年生	その他診断	○年に心理検査実施	母親の相談実施	
服薬(薬名)	有(○○○, ○○○)				
その他参考事項	手帳の所持状況				
	<input type="checkbox"/> 身体障害者 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉				
興味・好きなこと	・工作が得意。 ・スイミングスクールに通っており、長い距離を泳ぐのが得意。				
苦手なこと	・相手の気持ちを感じるのが苦手。言葉が乱暴になるときがある。 ・聞いたことをすぐに忘れてしまう。				
本人の将来の希望(進路含む)	・学習が理解できないので、分かるように教えてもらいたい。 ・(本人の夢として)工業高校に進学して、エンジニアになりたい。				
家族状況	人数	特記事項			
	父: 母:1人 兄: 姉:1人 弟: 妹:1人 その他()	・母親は夜遅くまでの勤務。 ・夕食は姉が作る。			
2 保護者からの要望					
<input checked="" type="checkbox"/> 学習 <input checked="" type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 対人 <input type="checkbox"/> 発達 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> その他()					
・宿題の量が多く、家庭学習に時間がかかった。中学校では、本人と相談して宿題の量を決めてほしい。 ・忘れものが多い。先生の指示をすぐに忘れてしまうことが多い。小学校では、メモをとるよう声がけをしてもらっていたので、中学校でも引き続きお願いしたい。					
3 出席状況 ※作成対象となった学年から記入					
<input checked="" type="checkbox"/> 教室 <input checked="" type="checkbox"/> 保健室・別室 <input type="checkbox"/> 適応指導教室 <input type="checkbox"/> その他()					
学年	1年	2年	3年	4年	5年
保健室・別室・適応指導教室	日	日	日	日	3日
遅刻	日	日	日	日	5日
早退	日	日	日	日	10日
・欠席・遅刻・早退・別室登校がみられた理由・きっかけ	・複数の教室を利用している場合の具体				
・欠席・遅刻・早退・別室登校がみられた理由・きっかけ	・友達とのトラブルがあり保健室を利用。 ・保健室に行っているから別室を活用している。				
・欠席・遅刻・早退・別室登校がみられた理由・きっかけ	・教室に入りたくない。 ・別室登校をしている。				

元号で記入

診断された時期を記入

相談開始時期を記入

手帳がある場合は記入

薬名が複数で書されない場合は、「その他参考事項」に記入

医師からの助言を記入(安全面、配慮事項等)

学習面、生活面、友人関係、特性等を記入

具体的な進路や本人の夢、将来の暮らし方等について記入

本人や進学先の学校に対しての願いや支援が必要と思われることを記入。家庭で取り組んでいることを記入

作成対象となった学年時から記入

保健室・別室、適応指導教室への登校、出席も含む

「引継ぎシート」の内容

「引継ぎシート」の内容は、以下の5項目に構成されています。

項目	ねらい	記入の仕方
1 児童生徒の概要	児童生徒の基本情報を共有し、進学先での支援に生かします。「興味・好きなこと」や「苦手なこと」、「本人の将来の希望」等を確認します。	児童生徒本人の基本情報を記入するものです。「家族関係の特記事項」には、本人の状態や支援内容を検討する上で必要な情報を記入します(例：家族構成、外国籍の保護者、家庭内使用言語等)。
2 保護者からの要望	保護者からの要望を理解した上で、指導・支援の方向性や具体的な支援方法等を確認します。	保護者からの要望に該当する事項について、学習、生活、発達、健康等、当てはまる欄にチェックを入れ、その具体的な内容を記入します。
3 出席状況	教育上特別な支援を必要とする児童生徒の出席状況や学びの場の様子を確認します。	児童生徒が学習活動を行っている場所に当てはまる欄にチェックを入れます。出席日数等に数字を記入するとともに、欠席・遅刻・早退・別室登校がある場合には、理由・きっかけを記入します。
4 学習上・生活上の様子	児童生徒が学校生活や家庭生活において獲得・活用している内容を確認するとともに、教育上特別な支援を必要とする内容についても多面的に確認します。	学校での様子を記入します。あらゆる障がい種や児童生徒の状況に対応するために、特別支援学校学習指導要領「自立活動編」の自立活動の項目を参考に作成しています。
5 学校での様子	現籍校での児童生徒の様子を一日の流れに沿って確認します。併せて、現籍校で行っている支援内容や配慮事項を確認します。	小学校から中学校への引継ぎに関しては、小学6年時の様子を記入します(中学校から高等学校の場合は、中学3年時)。保護者と確認している合理的配慮は、必ず記入します。支援を必要としない項目は、記入する必要はありません。

4 学習上・生活上の様子 (できているところにレを記入してください。困難が無い場合は、全てにレを記入してください。困難さについては、項目の1・2・5の欄に自由に記入してください。)

健康	<input type="checkbox"/> 生活リズムが整っている(起床時刻：6時30分頃、就寝時刻：22時30分頃) <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣(食事・睡眠・排泄)が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 衣服の調節ができる <input checked="" type="checkbox"/> 清潔の保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の病気の状態を理解できる <input type="checkbox"/> 自分の病気の状態を自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康に関して自己管理できる <input type="checkbox"/> 健康状況に伴う困難さの状態や必要な支援について他者に伝えることができる
心理	<input type="checkbox"/> 情緒が安定している <input type="checkbox"/> 状況に応じて不安や緊張を軽減する <input type="checkbox"/> 自分の困難さの状態を理解したり、受容したりしている
人間関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他者との関わりを好む <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情を理解している <input type="checkbox"/> 場に応じた適切な行動をとる <input type="checkbox"/> 自分の得意なことや不得意なことを理解している <input checked="" type="checkbox"/> 集団の中で状況に応じた行動ができる <input checked="" type="checkbox"/> 保護者の指示に従う <input checked="" type="checkbox"/> 身近な教師の指示に従う
環境	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の感覚を有効に活用できる <input checked="" type="checkbox"/> 感覚の過敏さや鈍麻さはない <input type="checkbox"/> 自分の感覚の過敏さや認知特性について理解している <input type="checkbox"/> 補助機器を活用して自分の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の困難さを補っている <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用して、的確な判断や行動ができる
身体	<input checked="" type="checkbox"/> 姿勢保持ができる <input checked="" type="checkbox"/> 上肢・下肢の運動や動作がスムーズである <input checked="" type="checkbox"/> 補助的手段を活用して姿勢保持や運動・動作ができる <input checked="" type="checkbox"/> 学習・作業のための基本的動作(書字・描画等)が身に付いている <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な移動能力がある(※車椅子等の補助的手段を活用する場合は、右欄に記載すること)→()
コミュニケーション	<input checked="" type="checkbox"/> 相手の意図を受け止める <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを伝える <input type="checkbox"/> 事物や現象、自分の行動に対応した言語を身に付けている <input checked="" type="checkbox"/> 話し言葉を使ってコミュニケーションができる <input checked="" type="checkbox"/> 文字・記号、機器、手話等を活用してコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 場や相手に応じたコミュニケーションができる
その他	<input checked="" type="checkbox"/> インターネットやゲームをする時間や頻度をコントロールしている(概ね1日当たり1時間以内)

できているところにチェックをする

保護者と情報を共有しながら作成しましょう。



支援が必要と思われるものの中から、本人の様子を記入。その様子に応じた支援内容や配慮事項を記入

進学先の学校で、現籍校での支援の継続を希望する場合には○を記入

指導上参考になる事項を記入

進学予定の学校名や関係機関名等を記入

5 学校での様子

指導形態			
<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級		<input type="checkbox"/> 特別支援学級	
<input type="checkbox"/> 通級による指導		<input type="checkbox"/> その他()	
場面	様子等	支援内容・配慮事項	本人の支援継続希望
登下校時			
授業中	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> その他 ・授業中に気になることがあると離席することがある。	・授業の見通しを持たせる。 ・一文一動作の指示にする。	○
学習以外の時間	・意見の違いから友達とトラブルになることが多い。	・行動が改善するよう、個別にSSTの学習を行った。	
集団活動	・長時間の活動になると、集中が続かないときがあった。	・活動の見通しを持たせた。短時間の活動を多く取り入れた。	
放課後	・児童クラブで過ごしている。宿題の取組が遅いようだ。	・児童の先生方に声をかけてもらっていた。	
その他参考事項	・提出物がそろわない。	・連絡帳の内容を担任が確認した。忘れ物が多くなった時は、家庭へ連絡した。	○

この「引継ぎシート」をもとに、【 ○○中学校 】と情報を共有し、その後【 ○○中学校 】が現籍校、関係機関等に連絡を取り、学校生活に必要な情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日 児童氏名 _____ 印 _____
保護者氏名 _____